

## 職場実習〈第1週〉

## 【1】障害者支援施設の概要・役割・機能

- ①障害者総合支援法の法的な根拠・役割（生活介護）
- ②運営法人について（基本理念、非営利組織の経営、ビジョン）
- ③施設概要
- ④基本理念と行動規範（ケースワークの原点と照合）
- ⑤福祉のマーケティング（SWOT分析）
- ⑥施設会計・財務管理（月次報告、予算決算、財務）
- ⑦施設の建物管理（建物管理ガイドライン）
- ⑧施設の人事・労務管理（目標管理制度、人事・業務考課制度）
- ⑨職員人材育成（研修計画、目標管理、声かけノート）
- ⑩業務分掌・職務基準書
- ⑪情報管理（情報管理ガイドライン、個人情報法規定）

## 【2】利用者支援

- ①環境に慣れる（全体の業務内容の把握）
- ②利用者との関係形成（インリアルアプローチ、共感的態度、コミュニケーションスキル）
- ③意思決定過程と人権尊重
- ④利用者支援カード（個別状況、生活障害個人差の理解）
- ⑤障害特性（てんかん、ダウン症、自閉症、精神疾患、疾病）
- ⑥行動規範に照らした支援（支援介護ブック）
- ⑦ジェントルティーチング（キッチン・テーブルアセスメント）
- ⑧マナー接遇（職業人的な対人援助姿勢、安心・安全・満足の支援提供）
- ⑨朝・夕礼、グループ会議等のミーティングの役割

## 【3】他職種連携・チームアプローチ

- ①看護師の役割（健康管理・支援員との連携協働）
- ②理学療法士の役割（リハビリテーション・機能訓練）
- ③管理者・主任・リーダーの役割・組織運営体制
- ④チームアプローチ

## 【4】地域社会との関わり

- ①社会資源の活用
- ②ボランティアとの関わり（受け入れ実施要項・ボランティアコーディネート）
- ③地域他施設との連携（喫茶・ショートステイ）
- ④地域同一法人施設との連携

【価値・知識・技術】 ノーマライゼーション、社会的使命、社会正義、基本理念と重点課題、連携・協力、公平性・透明性、生活の質の向上、マネージメント、最善の利益、ストレングス、エンパワメント、個別化、課題分析、非審判的態度、科学的な手続き、自己決定、受容と共感、優しい眼差し、温かい笑顔、穏やかな態度、了解性、秘密保持、人間理解の視点、社会集団の視点、良質のコミュニケーション、クライアントシステム、ワーカーシステム、ウェルビーイング、リハビリテーション、障害児療育、自立生活の継続、人権、アドボケイト、対等平等の関係、自己覚知と内省

## 職種実習〈第2週〉

### 【1】サービス支給プロセス

- ①障害程度区分とサービス支給決定（支給決定プロセス）
- ②利用契約制度（重要事項説明書・契約書）

### 【2】利用者支援プロセス

- ①ケースワーク
- ②グループワーク（フィットネス・音楽のグループワーク的視点）
- ③コミュニティーワーク
- ④ティーチプログラム（構造化）
- ⑤生活課題考察（ABC分析）
- ⑥応用行動分析
- ⑦KJ法による気づき
- ⑧苦情解決システム
- ⑨施設内文書の理解・書類管理
- ⑩連絡帳・支援記録（個別支援計画との連動）
- ⑪プログラム企画・運営（個別支援計画と連動）
- ⑫プログラム企画立案（第3～4週に実施）

### 【価値・知識・技術】

ダイナミクスの視点、対等性と契約、品質改善

（再掲）ノーマライゼーション、社会的使命、社会正義、基本理念と重点課題、連携・協力、公平性・透明性、生活の質の向上、マネージメント、最善の利益、ストレングス、エンパワメント、個別化、課題分析、非審判的態度、科学的な手続き、自己決定、受容と共感、優しい眼差し、温かい笑顔、穏やかな態度、了解性、秘密保持、人間理解の視点、社会集団の視点、良質のコミュニケーション、クライアントシステム、ワーカーシステム、ウェルビーイング、リハビリテーション、障害児療育、自立生活の継続

## ソーシャルワーク実習〈第3～4週〉

### 【1】サービスマネジメント・ケアマネジメント \*相談支援事業との連携

- ①個別支援計画（アセスメント・作成と変更）
- ②個別支援計画（説明と交付）
- ③個別支援計画策定会議（サービス担当者会議）
- ④サービス提供プロセス管理
- ⑤サービス提供記録管理（支援記録）
- ⑥利用者からの苦情相談
- ⑦家族対応（連絡帳・送迎・電話対応等）
- ⑧面接・相談（家族面談等）
- ⑨支援内容に関連する関係機関との連携
- ⑩管理者への支援状況報告
- ⑪個別支援計画の立案

### 【2】リスクマネジメント

- ①リスクマネジメント体制
- ②リスクマネジメント手法
- ③事故報告・ヒヤリハット（SHELモデル・統計と分析）
- ④AKT訓練（危険予知訓練）

### 【3】地域交流・社会貢献

- ①見学受入
- ②施設公開（講座・教室・行事）
- ③地域に向けた取り組み（成年後見・HIV・人権セミナー等）

### 【4】権利擁護

- ①倫理綱領 → 資料：社会福祉士会倫理綱領
- ②虐待防止（虐待防止プロセス・マニュアルとチェック表）
- ③権利条約（障害者権利ノート）
- ④理念・行動規範に基づいて事例作成

### 【5】第三者評価

- ①第三者評価受審手順と結果
- ②改善プロセス
- ③施設評価と改善提案の作成

### 【6】障害者就労支援

#### 【価値・知識・技術】

記録のスキル、アセスメントスキル、モニタリング、問題理解の視点、面接のスキル、秘密保持、エンパワメント、サービス品質向上、安全文化の構築、分析手法、危険予知感性、改善手法、サービス品質保証、プライバシー、ノーマライゼーション、社会的使命、専門機能の外延化、人権、最善の利益、アドボケイト、自己覚知と内省、評価と改善手法、マーケティング